

EMECS10 - MEDCOAST2013ジョイント会議
統合的沿岸域管理 (ICM) に関するグローバル・コンgres
～教訓から新たな挑戦へ～



International EMECS Center

アナウンスメント：論文アブストラクト募集概要

【提出期限：2013年2月4日（月）必着】

開催日時：2013年10月30日（水）～11月3日（日）

開催場所：トルコ・マルマリス Grand Yazici Club Turban Hotel

主催：MEDCOAST財団（トルコ）、公益財団法人国際エメックスセンター

● ごあいさつ

2013年は、ストラットン委員会報告書がアメリカ合衆国連邦議会に提出されてから44年目にあたります。この報告書は多くの専門家から、沿岸域管理の取り組みが将来的に世界中に広がる上での起点になると考えられました。また、報告書提出から3年後の1972年に制定された沿岸域管理法はアメリカの沿岸域管理計画を推し進め、1980年代になるとそのコンセプトと手法が他の多くの国々へ伝えられましたが、全世界に広がるにはさらに何年かの時を必要としました。

転機となったのは、1992年にリオデジャネイロで開催された地球環境サミットで、その後の取り組みに大きく貢献しました。たとえば、1995年に改訂されたバルセロナ条約で沿岸域管理が地中海での最も重要な課題となり、地中海行動計画の第2段階が始まりました。翌1996年には、EUが統合的沿岸域管理の実証的なプログラムを立ち上げるなど、1990年代には同様の重要なプログラムやプロジェクトが世界各地で実践され始めました。

また、地球環境ファシリティは、沿岸域管理の重要な構成要素の一つである、生物多様性が重視されている様々な海域での大規模プロジェクトに資金を提供しました。

こうしたことから、いくつかの工業国において、劣化した沿岸域の回復と沿岸域都市の修復が重要な研究・開発の分野となりました。これらの取り組みや過去に学んだ教訓から、貴重な経験が蓄積されてきたのです。統合的沿岸域管理 (ICM) の実践への関心が世界的に高まるのと並行して、沿岸域課題の取り組みに対処するため、学術研究機関は様々な新しい教育プログラムを開発し、人的資質向上に取り組んできました。これまでに統合的沿岸域管理の効果的な実践に向けた、シンプルでかつ洗練された、また実践的かつ科学的な様々な手法が考案され、改良が重ねられてきました。また、コミュニティベース、生態系ベース、里海といったいくつかの手法が開発され、様々な沿岸域で適用されています。

今日では、ほとんどの閉鎖性海域において統合的沿岸域管理が取り入れられ、或いはさらなる発展を目的として、地元や地域、国内においてだけでなく国際的にも多数のプロジェクトやプログラムができています。

しかし、年月が経つとともに、沿岸域での気候変動による影響への適応、防災や管理、軽減といったいくつかの新たな課題があらわれています。また、ブルーエコノミーといったような新たな取り組みも導入されています。

こうしたことから、過去に学んだ教訓を検証するとともに、ICMにおけるこれまでの努力や経験を見つめ直すにあたって、今回のグローバルコンGRESは誠に時宜を得たものと言えるでしょう。願わくば、この蓄積された知見が世界各地の貴重な沿岸域の持続可能性を、将来にわたって効果的に維持していくための英知を引き出すことになればと考えています。

この「統合的沿岸域管理（ICM）に関するグローバルコンGRES」は、EMECSとMEDCOAST財団それぞれが開催している会議のジョイント会議として、2度目の開催となります。前回のジョイント会議は1999年11月9日～13日にトルコ・アンタルヤで開催され、約50か国から500人を超える参加者が集まり大きな成功を収めました。

今回の会議開催地となるマルマリスは美しいエーゲ海に位置する、観光リゾート地としての魅力や自然、豊かな文化、そしてよく知られたトルコの人々のあたたかなホスピタリティにあふれた町です。そのような素晴らしい場所で開催されるこのグローバルコンGRESが、ICMの将来を考える会議となることを期待しています。

科学者、専門家、管理者、計画者、政策担当者、行政関係者、資源開発者、利用者、そして環境保護活動者などの全世界からのご参加をお待ちしています。

● 会議トピックス（分科会テーマ）

A. 沿岸域システム、保全問題

地理学、地質学、地形学、堆積学、沿岸域海洋学、沿岸域および海洋生態系、生物学、生態学、海洋哺乳動物、絶滅危惧種、保全問題、生物多様性、外来侵入種の問題、沿岸域生態系管理、損傷を受けた生態系の修復、沿岸域および海洋の保護区、沿岸域風景

B. 統合的沿岸域管理（ICM）

理論的枠組みおよび事例報告、沿岸域管理ツールと手法・データベース、沿岸域および海洋についての政策・科学・政策統合、沿岸域統治、制度的取り決め、ICMに必要な国際活動とプログラム、法的・経済的および社会的課題、環境および生態学的経済学とブルーエコノミー、教育・住民参加とNGOの役割・メディアの役割、ICMの効果の評価・沿岸域管理指標、パイロットプロジェクトのデモ

C. 沿岸域管理問題

沿岸域および海底考古学、古代遺跡・遺物・沈没船の管理、沿岸域湿地・砂丘・河口域・三角州およびラグーン、海岸とその管理、沿岸域の水資源と河川集水域の管理、水質管理・水質および底質汚染・陸域水源・有害廃棄物・藻類異常増殖・汚染およびモニタリングのための生物指標・汚染制御、海洋ごみ・固形廃棄物管理、越境汚染問題・法的背景、環境への影響・沿岸域劣化・環境アセスメント（EIA）・戦略的環境アセスメント（SEA）、災害防止・軽減・管理、気候変動影響と適応戦略

D. 沿岸域の持続可能な発展

持続可能な発展の重要性・指標・沿岸域および海洋資源の持続可能な開発、沿岸域および海洋空間計画、都市開発問題、海岸区域再開発、沿岸域ツーリズム計画・管理・エコツーリズム・レクリエーション・海洋ツーリズム、生物資源・漁業・海洋養殖、海運問題・石油輸送、巨大工業施設の設置

E. 沿岸工学、モデル化、意志決定支援システム、データ管理

沿岸域・環境および生態系のモデル化、沿岸域水力学、沿岸域堆積物の移動と浸食、沿岸域の過程・浸食制御および海岸線管理、沿岸域およびエコ沿岸域工学、水位変動・海面上昇とその影響、沿岸域・海洋のモニタリング、沿岸域管理でのリモートセンシング技術と地理情報システムの利用

●会議運営

(議長) Prof. Erdal Ozhan MEDCOAST財団理事長 (トルコ)

(プログラム実行委員会)

Prof. E. Ozhan	(議長) MEDCOAST財団理事長
渡辺 正孝	(共同議長) 慶應義塾大学 教授
Dr. S. Abdalla	ヨーロッパ中期予報センター (ECMWF) (イギリス)
Dr. V. Barale	共同研究センター (JRC) (イタリア)
陳 中原	華東師範大学教授 (中国)
Prof. J.P. Ducrotay	ハル大学名誉教授 (イギリス)
Prof. R. Kosyan	ロシア科学アカデミーシスロフ海洋学研究所沿岸研究部リーダー
Dr. C. Pergent-Martini	コルシカ大学 (フランス)
Prof. G. Pergent	コルシカ大学教授 (フランス)
Mr. I. Trumbic	国連環境計画地中海行動計画 (UNEP/MAP) 地中海広域海洋生態系戦略パートナーシッププロジェクトマネージャー (ギリシャ)
Mr. J. van der Weide	CEMC (オランダ)
Prof. A.T. Williams	スウォンジーメトロポリタン大学 (イギリス)
Dr. E. Wolanski	オーストラリア海洋科学研究所指導科学者 (オーストラリア)
柳 哲雄	九州大学応用力学研究所 教授

アブストラクト応募要領

1. アブストラクトの応募は、会議ウェブサイト、またはEメールにてMEDCOAST財団まで提出してください。**(提出期限は2013年2月4日(月)必着)**
2. アブストラクト様式はシングルスペースの記述でA4サイズ1枚以内とし、氏名、肩書、所属、連絡先住所、電話番号、各執筆者のメールアドレスを必ず記載してください。
3. アブストラクトは、テーマ、研究成果、結論を要約し、十分にわかりやすく明確に記述してください。
4. それぞれの執筆者名および共同執筆者名については姓に下線を引いてください。
5. 該当する会議トピックスの中から1つ選び、右上にそのトピックス名を記載してください。トピックスリストに記載されていない場合は、新しいトピックスを用いてもかまいません。
6. 共同執筆の場合は、会議での発表者名をアブストラクトの最後に記載してください。
7. アブストラクトの受理およびフルペーパー作成用のフォーマットと提出手続きに関する連絡を、**2013年2月28日(木)までに筆頭執筆者にEメールで連絡します。**
8. 手続きに従って作成されたフルペーパーの電子データは、会議用ウェブサイト、またはEメールにて**2013年6月30日(日)までに提出してください。**
9. フルペーパー作成において不備があった場合や提出締切日(2013年6月30日)に間に合わなかった場合は、論文集やプログラムに掲載されませんのでご注意願います。
10. プログラム委員会とMEDCOAST財団が、アブストラクトに記載された内容をもとに論文の受理審査を行い、ポスター発表または口頭発表のいずれか適切な方に割り当てます。会議プログラムおよび論文集への論文掲載の最終選考は、提出されたフルペーパーの査読を経て行います。

● 出版物

口頭またはポスター発表に選ばれた論文は、会議参加者全員に配布される論文集に掲載されます。論文集に掲載された論文の中からさらに厳選された論文は、前回のEMECS-MEDCOASTジョイント会議と同様に、沿岸・海洋科学および管理分野の学術誌の特別号として出版される予定です。

● 会議協賛・後援

数多くの団体・組織からの協賛や後援を募集中です。協賛・後援いただいた一覧は、会議ウェブサイト及び2013年8月に発行予定の会議公報にてお知らせする予定です。

● 特別セッション

様々な学術研究機関との共同開催による特別セッションが今後設定される予定です。

● ポスターセッション

口頭発表よりもポスターセッションでの発表がふさわしい場合がありますので、ポスター発表をご希望の場合は、アブストラクトにその旨を記載してください。

なお、全てのポスターセッション出展の中から審査・評価が行なわれ、優秀ポスター3点がベストポスター賞として閉会式で表彰されます。

● 環境ビジネス展

会議開催中に持続可能な沿岸域および海洋資源管理の関連設備、製品、システム、サービス等の環境ビジネス展を同時開催します。政府や民間機関によるご参加も歓迎しています。

● 文化イベント

会議プログラムには多彩な文化イベントが含まれています。会議開催期間中にマルマリスの有名観光地への半日ツアー、最終日にはマルマリス近郊の沿岸域へのテクニカルツアーを計画しています。

● アブストラクトに関する期限

アブストラクト提出締切	2013年2月 4日(月) 必着
アブストラクト受理通知	2013年2月28日(木) までに通知(予定)
フルペーパー提出締切	2013年6月30日(日) 必着

● お問い合わせ先

参加登録料や宿泊等、会議に関する情報は会議ウェブサイトに後日掲載します。
その他のお問い合わせは下記連絡先までお願いします。

MEDCOAST財団

(住所) Maras Mah., Kaunos Sok., No.26, Dalyan 48840 Mugla, Turkey
(TEL) +90-252-284-4450 (FAX) +90-252-284-4405
(E-mail) medcoast@metu.edu.tr または medcoast@medcoast.net
(ウェブサイト) www.medcoast.org.tr

(公財)国際エメックスセンター

(住所) 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 人と防災未来センター東館5階
(TEL) 078-252-0234 (FAX) 078-252-0404
(E-mail) secret@emecs.or.jp (ウェブサイト) <http://www.emecs.or.jp/index.html>